



2021年12月17日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 管理本部長 下舞 毅
(TEL. 0996-68-1140)

2021年11月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2021年11月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	1,626	67.5%	9.4%	175.8%
FPD分野	776	32.2%	25.1%	297.5%
その他分野	8	0.3%	△80.9%	△79.7%
合計	2,411	100.0%	12.1%	191.8%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5
半導体分野	654	696	697	753	991	979
FPD分野	205	225	324	499	512	531
その他分野	23	88	55	27	8	27
合計	883	1,010	1,077	1,280	1,512	1,538

区分	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9	2021/10	2021/11
半導体分野	1,095	1,122	1,209	1,399	1,486	1,626
FPD分野	499	478	527	533	620	776
その他分野	26	34	67	67	43	8
合計	1,621	1,635	1,804	2,000	2,151	2,411

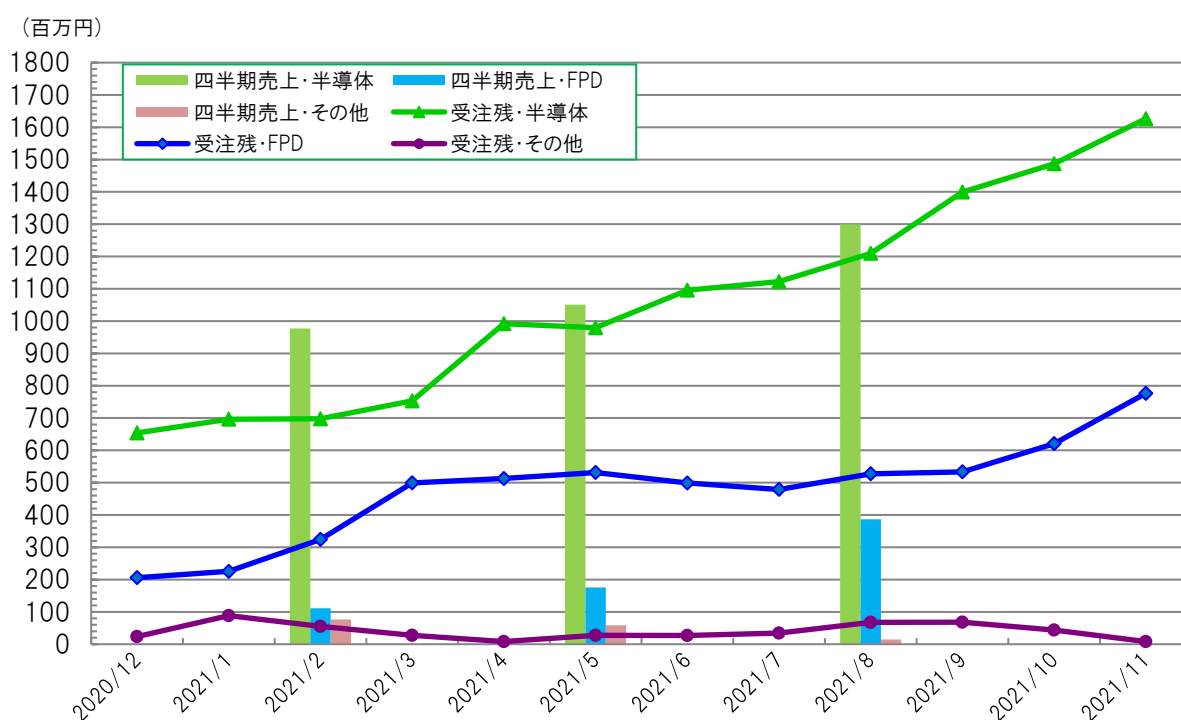
3. 月次受注残高の概況

2021年11月末の受注残高は、半導体分野においては、先月に続き受注額が過去最高を更新したことから、対前月増減率は9.4%増、対前年同月増減率では175.8%増の1,626百万円となりました。FPD分野においても、出荷検収が好調であるなか、消耗部品のまとめ受注が発生したこともあって受注額が過去最高を更新し、対前月増減率は25.1%増、対前年同月増減率では297.5%増の776百万円となりました。その他分野においては、出荷検収が順調に推移したことから、対前月増減率は80.9%減、対前年同月増減率では79.7%減の8百万円となりました。これらの結果、2021年11月末の受注残高は、対前月増減率12.1%増、対前年同月増減率191.8%増の2,411百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、半導体分野につきましては、受注に対応するため生産能力増強を進めておりますが、ロジック向けを中心に強い市場環境が続く見通しであることから、今後も一時的な山谷はありながらも、しばらくは好調に推移すると予想しております。FPD分野では、中小型OLED向けを中心に、しばらくは好調な受注が予想されます。その他分野におきましては、太陽電池製造装置向けの引き合いがあり、受注に向けた活動を行ってまいります。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。

3. 当社は、一部の取引で、得意先から材料を仕入れる有償支給取引を行っています。従来は売上高に有償支給材料の費用を含めて表示しておりましたが、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用することにより、売上高から有償支給材料を除いた純額で表示することになります。現時月の月次受注残高には8百万円の有償支給取引額が含まれています。なお、利益額に対する影響はありません。